

事業名	高等学校文化活動助成費		
細事業名	高等学校文化活動推進助成費補助金	財務コード	485101
担当部課室	教育委員会	高校教育 課	指導 担当 (内線) 8340

事業の概要

実施期間	始期 S 58 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(山梨県高等学校文化連盟)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 芸術文化活動を行なう県内の高校生	その対象をどのような状態にして 芸術文化活動をとおり、生徒一人ひとりの感性を育て創造性や可能性を広げ、充実した学校生活や芸術文化活動が展開・推進できる	結果、何に結びつけるのか ・本県の芸術文化活動の発展・向上 ・伝統や文化を継承し、生涯にわたって芸術文化に親しむ人材の育成 ・文化の薫り豊かな地域づくりと新たな文化の創造
	趣旨 豊かな心を育て、文化の薫る地域づくりと新たな文化の創造・発展のため、県民の芸術文化活動の研鑽の機会を設けるとともに、その成果を発表・交流する機会を拡充する必要があるため、県高等学校文化連盟を支援する。		
事業の内容 主にH26年度	平成26年度事業内容 (1) 第35回山梨県高等学校芸術文化祭グランドステージおよびパレードの開催 第35回山梨県高等学校芸術文化祭 各部門の育成および開催(全27部門) (2) 第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会への派遣(28校の生徒402名) (3) 山梨県高文連オーケストラの育成および第26回定期演奏会(9月15日, 3月21日)の開催		
根拠法令等			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 県高校芸術文化祭 開催部門数	27部門	27部門	27部門	27部門	27部門	活動指標 目標設定の考え方 県芸術文化祭における開催部門の充実が図られている。 データの出典等 実施計画書および実施報告書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	100.0 %				
成果指標 参加延べ人数	22,097人	22,000人	20,681人	20,000人	20,000人	成果指標 目標設定の考え方 実施報告書の参加延べ人数により設定 データの出典等 実施報告書
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	94.0 %				
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	5,700		5,700	5,700	5,700	成果指標によらない成果 県芸術文化祭における取組や実績の上で、全国高等学校総合文化祭に出場し、入賞などの成果を上げている。 マージン・バトン部門 講評者特別賞(ハスト3) 自然科学部門 優秀賞(2位相当) 文芸部門 秀逸(3位相当) 演劇部門 優良賞(5位) 放送部門 優秀賞(8位相当)
所要時間(直接分)	76 時間		76 時間	76 時間	76 時間	
所要時間(間接分)	12 時間		12 時間	12 時間	12 時間	
所要時間計	88 時間		88 時間	88 時間	88 時間	
人件費コスト単位:千円 (@2,048円×所要時間)	180		180	180	180	

これまでの事業の見直し・改善状況

平成24年度から、県芸術文化祭総合開会式を、各専門部の発表や交流を意識した「グランドステージ」として再構成し、見直しを行ってきた。こうした取組などにより、参加人数にも好影響が出ており、今後も現状の活動を維持、発展させていきたいと考えている。

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率		生徒数が減少する中において、県高校文化連盟にかかわる芸術文化祭、全国高等学校総合文化祭、高文連オーケストラの活動、また、各専門部の育成事業などは、文化部所属生徒の増加傾向もあり、活発かつ充実した内容であることがうかがえる。同時に、全国高等学校総合文化祭においても入賞するなど、高文連の育成を含めた活動が成果を上げていると思われる。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	県高校芸術文化祭の記念行事や各部門発表に多くの県民が観覧し、県民の文化活動の振興に資する取組の強化が求められる。そのため、パレードやグランドステージ及び各部門発表の日程の精査と効果的な広報活動の検討が必要であり、高文連事務局とパレード実行委員会・グランドステージ実行委員会代表者との打合せを増やし、開催日程やパレードコースの見直しを含めた変更を検討する。同時に高文連事務局と各専門部との一層の連携強化を図る。	1

・「以外の判断項目」の欄
 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	県高校芸術文化祭パレードやグランドステージの周知にあたっては、報道機関(新聞やテレビ等)への情報提供・取材依頼やチラシの作成・配布によって、県民の関心を集めることができたと考えられるが、より多くの方々に高校生の発表に触れ文化活動の振興に資するためには、実施内容や実施方法の充実・改善が必要である。従って、県高校芸術文化祭終了後、12月までにパレードやグランドステージ及び各部門における事業の点検内容や反省事項について県高校文化連盟事務局と各部門代表者との情報共有・意見交換を行い、年度内に次年度開催に向けた計画の素案を作成するよう打合せや検討会を実施する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
 ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること